



ひよこだより

令和3年度3学期号
担任 新井 江里香

令和3年度「ひよこ組」終了にあたって

園長 笛木 哲

子どもは、無限の未知なる可能性を秘めています。その可能性は、幼児期の過ごし方で大きく左右されるといわれています。各ご家庭ではお子さんを丁寧に、心を尽くしてお育てになりました。愛情いっぱい育てられたお子さんは、「自分は愛されている」との思いを胸に、ひよこ組に入会しました。親の手を離れてお子さんは、同年代の友だちと一緒に遊び、活動することを通して、約束を守ることの大切さや我慢しなければならない時があること、友だちと力を合わせることの素晴らしさを体得してきました。コロナ禍で、途中お休みがあったことは残念ですが、全てのお子さんが、心身共に次の階段を上げる準備を整えました。保護者の皆様のご理解ご協力に深く感謝すると共に、お子さんのさらなるご成長を楽しみにしています。一年間、ありがとうございました。

寒さの中にも少しずつ春の訪れを感じられるようになりました。

ひよこ組のお友だちは3学期になってからにこにこ笑顔で幼稚園に来て、元気に「行ってきます」とお家の方に手を振ってお部屋に入れるようになりましたね。自分のマークも覚えて、何でも自分でやろうとする姿が見られています。また、3学期になって、お友だちが変わった事に気が付いた子もいました。「〇〇ちゃんは何？」「どこにいるの？」という声が聞こえてきて、友だちに関心を持ち子どもたちの中に“友だち”という感覚が芽生えているんだなと感じました。

新しいお友だちともすぐに仲良くなり、みんなでブロックをしたり線路を作ったりと一緒に同じ遊びを共有する姿も見られます。そして、みんなお片付けがとっても上手です。お片付けの曲を弾くとお片付けチャンピオンを目指して頑張っています。中でも子どもたちが一番好きなのは、ごぞのお片付けです。みんなで丸めて「よいしょ!!よいしょ!!」とロッカーまで運ぶのが楽しいようで張り切って運んでいます。

また、朝の会やお話を聞く時は最後まで静かに座って聞けるようになりました。少し長い紙芝居も座って見られるようになりました。上手に出来るとホワイトボードに“はなまるを”書くのですが、最近子どもたちから「今日のはなまる?」「大きいを書いてー!」とリクエストをしてくれます。お帰りのご挨拶の後には「また明日も来るねー!」と笑顔で手を振ってくれる子どもたちのかわいい言葉にいつも嬉しく思っています。

しかし、2月が1回だけでお休みになってしまい、そんなかわいい子どもたちと過ごす時間が短くなってしまったことはとても残念でした。子どもたちは幼稚園の生活を知り子ども同士の関わりを持つ中でさまざまな経験を友だちと一緒にすることで、短い期間の中でも一人一人の成長を感じられました。4月からは年少さんになり、新しいクラスでのスタートですね。お友だちも増え、更に大きな成長が見られることを楽しみにしています。

保護者の皆様にはいつも温かく見守って頂きとても感謝しています。沢山のご協力ありがとうございました。



お友だちに「はい、どうぞ!」と、いつも美味しいご飯をごちそうしてくれます。アイスのデザート付きです!



コマあそび



自由遊び



お絵かきをした自分だけの凧。少し風が強かったけど元気が上がっていました。



あさのかい!

たこたこあがれ~!!



「♪グーチョキパーでなにつくろ~♪」みんな大好きな手遊び。大きな声で歌いながら体を揺らす姿がとてもかわいいです。いすに座る姿もかっこよくなりました。



お砂遊びが大好き。穴を掘ったり、カバさんにご飯をあげたり寒さに負けず遊んでいました。



三角折りと四角折りでおにぎりを折りました。中に好きな具を描いて美味しいおにぎりの出来上がり!



まめまきごっこ



鬼のお面を作って「鬼は外~!」と大きな声で豆を投げて、くす玉型の鬼を追い払いました。出てきた紙吹雪に大喜び。

